

第4章 進行管理と計画の見直し



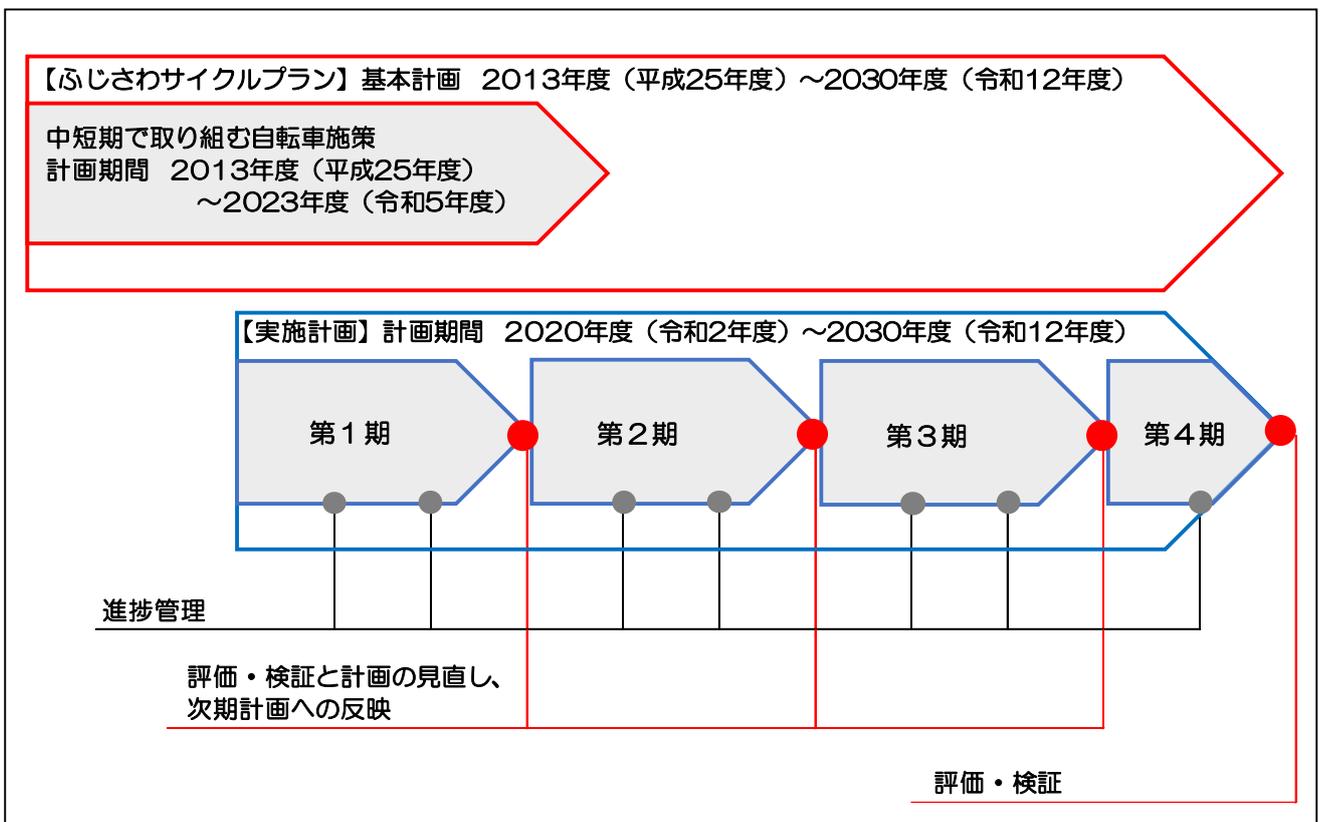
第4章 進行管理と計画の見直し

4-1 進行管理と計画の見直し

進行管理については、整備時期（第1期～第4期）ごとに整備目標に対する進捗結果などの評価・検証を行い、課題を抽出します。

また、その課題に応じて実施スケジュールを見直し、次期計画への反映を行います。

なお、進捗状況について、「ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会」に毎年報告します。



4-2 はしる～走行空間整備～

【進捗結果などの評価・検証】

第1期終了時点の事業進捗状況について、評価・検証を行います。

鉄道駅周辺の自転車走行空間づくり<第1期>

	目標	実績	進捗率
重点とする鉄道駅 藤沢駅	100%	94%	94%

自転車走行空間整備<第1期>

(自転車走行空間づくり・先導的に取り組む路線以外の路線)

	目標	実績	進捗率
自転車専用通行帯	0.7km	0.7km	100%
車道混在	2.6km	2.6km	100%

鉄道駅周辺の自転車走行空間づくりとして、第1期に整備完了を予定していた藤沢駅周辺の自転車走行空間づくりのうち、未整備となっている路線については回遊性向上を目的とした道路改良事業に併せて整備する計画であり、第2期の早期に整備を行う予定となっています。

自転車走行空間整備としては、自転車専用通行帯・車道混在ともに計画延長どおりの整備が完了しました。

以上より、概ね計画どおりに進捗していると評価できます。

【課題の抽出】

整備スケジュールの第1期を進めてきた中での課題を抽出します。

○整備スケジュールの管理に関する課題

- ・自転車専用通行帯や歩道の自転車通行可など、道路交通法による規制を変更する際は、交通管理者との協議に一定の時間を要する。
- ・水道、ガス、通信事業者等の占用事業者の工事や舗装修繕工事との調整に一定の時間を要する。

○整備に要する予算の確保に関する課題

- ・計画どおりに整備を進捗させるため、国の補助金等を積極的に活用し、予算確保に努める必要がある。

【次期以降の計画への反映】

進捗結果などの評価・検証及び抽出された課題を踏まえて、実施スケジュールを見直し、第2期以降の計画へ反映します。なお、見直した実施スケジュールは第2章に示したとおりです。

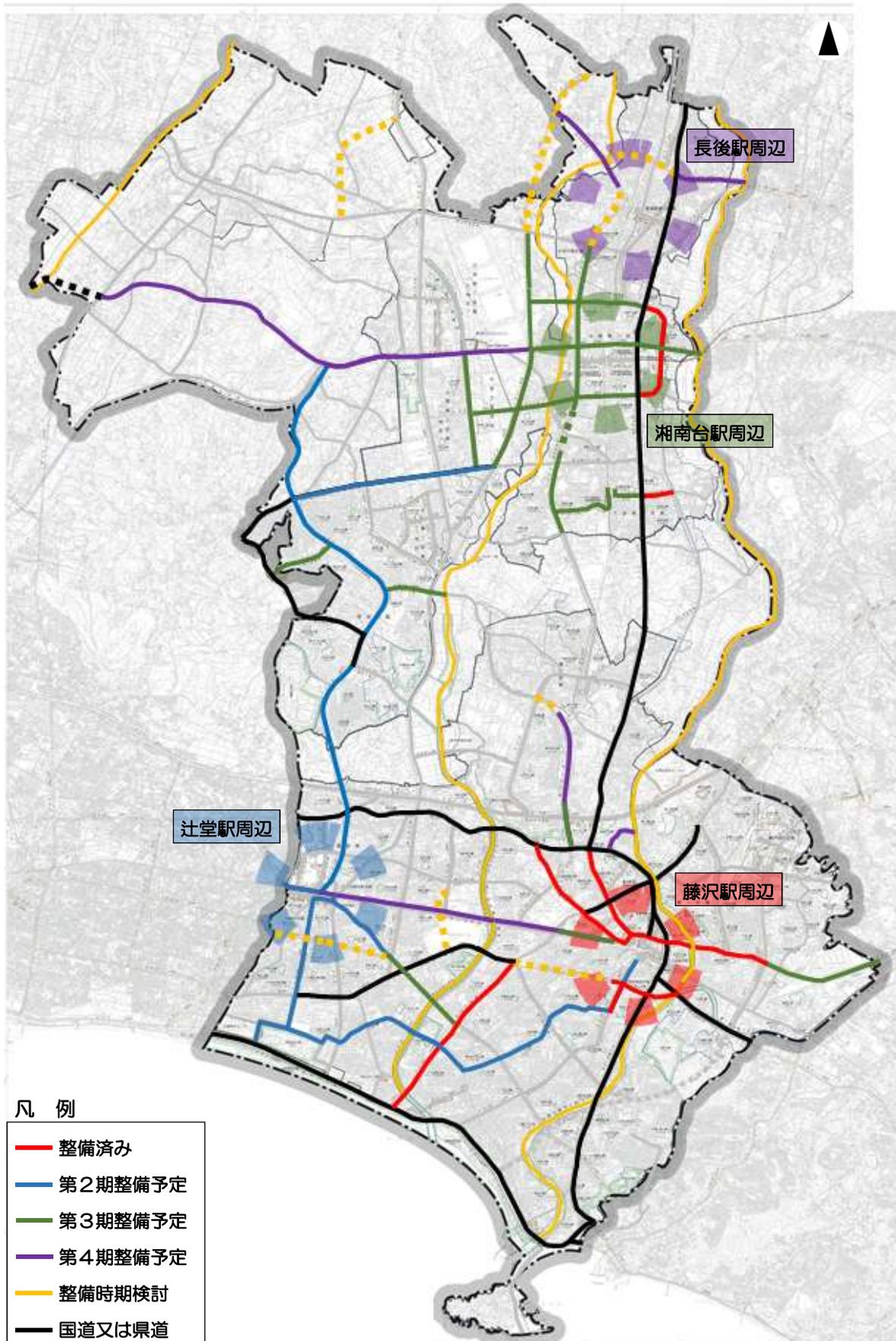
鉄道駅周辺の自転車走行空間づくり

	実施計画 策定前	第1～2期	第2期	第3期	第4期
重点とする鉄道駅	—	藤沢駅	辻堂駅	湘南台駅	長後駅
計画整備率	—	100%	100%	100%	100%

自転車走行空間整備（自転車走行空間づくり・先導的に取り組む路線以外の路線）

	実施計画 策定前	第1期	第2期	第3期	第4期
自転車専用通行帯 計画整備延長	3.4km (整備済)	0.7km (整備済)	2.6km	9.6km	2.8km
車道混在 計画整備延長	2.1km (整備済)	2.6km (整備済)	14.1km	8.1km	5.4km

【整備計画図】



4-3 とめる～駐輪環境整備～

【進捗結果などの評価・検証】

第1期終了時点の事業進捗状況について、評価・検証を行います。

1. 新たな駐輪施設の整備（新設・増設）

目標	実績	進捗率
2箇所	0箇所	0%

第1期につきましては、藤沢駅南口に新設自転車駐車場2か所の整備について、調整、検討を行ったが、整備着手には至りませんでした。また、1-3本鵜沼駅周辺については、鵜沼保育園再整備に合わせ新たな駐輪施設整備の調整を図っております。

2. 既存無料駐輪施設の有料化

目標	実績	進捗率
3箇所	3箇所	100%

第1期につきましては、片瀬江ノ島駅周辺では、江ノ島駅自転車等駐車場の整備、片瀬江ノ島駅第2自転車駐車場の廃止を行い、有料化整備が完了しました。

藤沢本町駅周辺では、2か所の自転車駐車場の供用開始を行い、有料化を図るとともに、駅周辺を放置禁止区域に指定しております。

3. 既存駐輪施設の利便性を高める方策（ゲート設置などによる機械化）

目標	実績	進捗率
5箇所	6箇所	120%

第1期につきましては、施設の構造などから整備順を変更し、5箇所整備の計画のなか、6箇所の機械化を行いました。

以上、1. 新たな駐輪施設の整備を除き、2、3については、概ね計画どおりに進捗していると評価できます。

【課題の抽出】

整備スケジュールの第1期を進めてきたなかでの課題を抽出します。

1. 新たな駐輪施設の整備（新設・増設）

1-1 藤沢駅南口の整備については、調整・検討を進めてきましたが、良好な歩行空間の確保が困難なことや、景観の悪化などから、改めて整備計画の見直しを図っております。

1-2 藤沢駅南口自転車等駐車場については、測量調査の結果、有効な用地の確保が困難であることや事業費の増大が考えられることから、そのあり方について検討してまいります。

また、藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業による既存自転車等駐車場の代替施設について、新たに1-3として、整備を行います。

2. 既存無料駐輪施設の有料化

藤沢本町駅周辺については、引き続き道路改良工事にあわせた自転車等駐車場の整備、東口については、候補地の検討・調整を行ってまいります。

鵜沼駅については、有料化に向け整備を行います。

湘南海岸公園駅周辺については、他の自転車駐車場の利用状況を検証し、自転車駐車場の在り方について検討してまいります。

3. 既存駐輪施設の利便性を高める方策（ゲート設置などによる機械化）

残り6施設については、順次機械化を進めますが、藤沢駅南口自転車等駐車場など施設の配置上、ゲート設置には大規模な改修が必要であるとともに、施設の老朽化も課題であることから、機械に合わせ整備を実施してまいります。

【次期以降の計画への反映】

進捗結果などの評価・検証及び抽出された課題を踏まえて、実施スケジュールを見直し、第2期以降の計画へ反映します。なお、見直した実施スケジュールは第2章に示したとおりです。

また、老朽化した施設もあることから、指定管理者と協力し、施設の長寿命化計画を策定してまいります。

【整備目標「とめる～駐輪環境整備～」】

整備対象箇所について、計画期間内に駐輪環境の整備完了を目指します。

- 新設・増設： 3箇所（別途あり方検討1箇所）
- 有料化： 8箇所（別途あり方検討3箇所）
- 機械化： 12箇所

	第1期	第2期	第3期	第4期
新設・増設	—	2箇所	1箇所	—
有料化	3箇所	1箇所	3箇所	1箇所
機械化	6箇所	6箇所	—	—

また、第2期では施設の長寿命化計画を策定、第3、4期に反映できるよう、調整を進めてまいります。